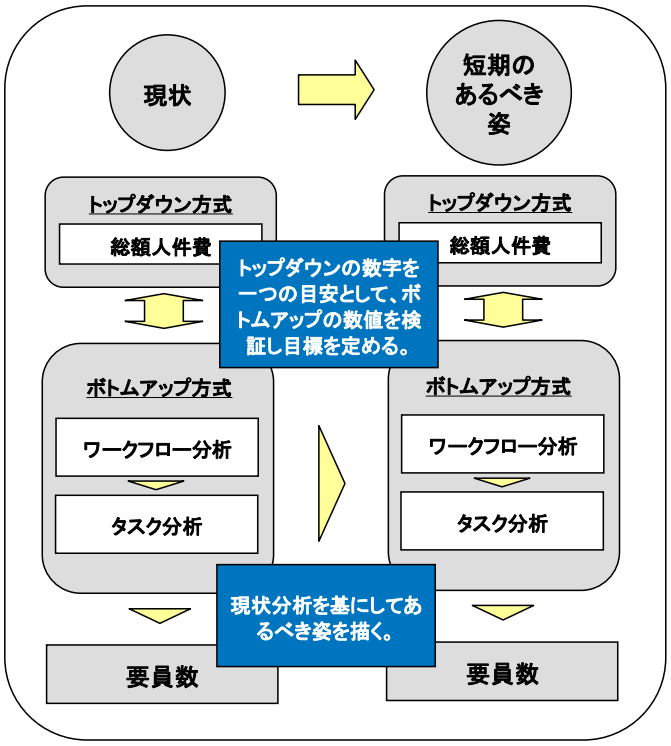
日本総研
The Japan Research Institute, Limited

人件費抑制施策策定コンサルティング

- 景気低迷の中、早期の経営合理化の必要性を感じていらっしゃいませんか？
- 企業の業績に見合うよう、人件費を適正化するために、人員削減も含めた人件費抑制施策の策定を検討されていませんか？
  ・人件費適正化の重要性の一方で、無計画な人員削減は、企業の基本的な対応能力の不足のみならず、従業員モラールの過度な低下を招く危険性もあるため、避けねばなりません。

- 本コンサルティングでは、企業のあるべき姿から適正な要員数を把握するとともに、企業のおかれている経営環境を踏まえた、適切かつ短期間で実行可能な人件費抑制施策をご提示いたします。

コンサルティングの内容



＜考え方のフレームワーク＞

トップダウンとボトムアップの2つ方式で分析を行います。

それぞれの方式により把握される分析結果を擦り合わせ、あるべき姿を描き、適正な要員数を把握します。

その後、現在の景気状況を踏まえ、楽観、標準、悲観の3つのシナリオ別に、短期的に取るべき人件費抑制施策を検討･提示いたします。

トップダウン方式

同業他社の水準などをベンチマークとして、適正な総額人件費の水準を割り出します。

ボトムアップ方式

現状のワークフロー、タスクを基に、改善可能なワークフロー、やるべきタスク、やる必要のないタスクの精査を行い、適正な業務遂行のあり方を描き、適正な要員数に落とし込みます。

要員数

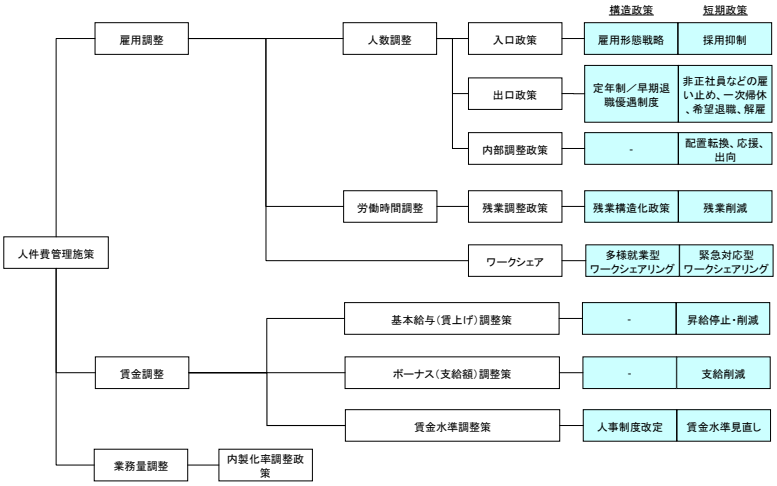
トップダウンの数字を目安に、ボトムアップで得たあるべき姿を目指す、というのが短期の方向性になります。

次世代の国づくり

Copyright (C) 2019 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.[tv1.0]

＜人件費抑制施策一覧＞

– 現在の景気状況がいつまで続くのか。不景気が続いた場合にビジネスをどういう方向にするべきなのか。
これらについての見通しを以って、人件費管理施策の選択肢を検討します。
（通常は、楽観／標準／悲観、の3つのシナリオについて施策を検討します。）



※上記は標準フレームです。問題意識や検証したい内容に応じたオーダーメイドが可能です。

コンサルティングの進め方

構想フェーズ

経営／事業戦略を理解し、業務の量と質、人材の量と質の現状を整理／確認する

- 外部環境分析
  - ・賃金水準
- 内部環境分析
  - ・経営方針・戦略・計画
  - ・財務状況
  - ・人件費（総額推移、構成、労働分配率など）
- 人事戦略の整理・確認
  - ・人材ポートフォリオ、人材フロー
- マネジメント・インタビュー
- 業界他社の事例調査・研究

要件定義フェーズ

実現するべき経営目標を定め、施策の方向性を検討する

- 経営目標の設定
  - ・利益／人件費
- 組織としての事業継続に必要な適正要員数把握
  - ・経営目標からの算定（トップダウン方式）
- 人件費管理に関する課題の洗い出し
  - ・人員構造の課題分析
  - ・外部水準との比較による報酬分析
  - ・人材マネジメントの課題整理
- 人件費管理施策の方向性検討

設計フェーズ

要件定義をもとに、人件費管理施策の選択肢を整理する

- 今回取り得る人件費管理施策の選択肢、Pro/Con、期待効果の整理
- 諸施策実行計画策定
  - ・内容／期間
  - ・実行体制
  - ・実施に当たっての留意点等洗い出し（法的リスク、人的リスク等）
- 施策実施後の事業継続の観点から留意点検討

実行フェーズ

実行計画に基づき、人件費管理施策を実行する

- 実行体制の確立
  - ・チーム編成
  - ・目標／スケジュール共有
  - ・タスク割り当て
- 実行計画具体化
- コミュニケーションプラン策定

問い合わせ先

株式会社 日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門
人事組織・ダイバーシティ戦略グループ
E-mail: rcdweb@ml.jri.co.jp
本資料の著作権は株式会社日本総合研究所に帰属します。

Copyright (C) 2019 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.[tv1.0]